

平成 26 年 12 月 16 日

報道各位

住友不動産ベルサール株式会社



“東洋のマチュピチュ”といわれる別子銅山の遺跡など紹介
『えひめ新居浜 別子銅山展』東京(首都圏)初開催
平成 26 年 12 月 19 日(金)～22 日(月)

多目的ホールや貸会議室などの管理運営を手掛けている住友不動産ベルサール株式会社(本社:新宿区西新宿 2-6-1、取締役社長:高橋 克展)は、このたび、住友グループ事業の原点となり、愛媛県東予地域が四国最大の産業集積地へと発展する礎となった“別子銅山の歴史的意義・産業遺産としての魅力”をお伝えする愛媛県・新居浜市主催による「別子銅山展」を、当社が管理運営する六本木の「泉ガーデンギャラリー」にて実施することとなりましたのでお知らせします。



＜“東洋のマチュピチュ”といわれる別子銅山の標高 750m の急峻な山中に残る遺跡＞

今般の展示会は、愛媛県東予地域が発展した礎をつくり、明治維新後の急速な近代化を進め、それに伴う環境問題への挑戦、閉山後の新たな都市づくりなどを行った、“日本近代化への縮図”ともいえる別子銅山事業の歴史を紹介するにあたり、その歴史的意義や産業遺産としての魅力を、「住友史料館」副館長 末岡照啓氏による基調講演や各資料・パネル展示を通じてお伝えするものです。

なお、同展示会は別子銅山の近代化を推進し、産業革命を実践した広瀬幸平氏の没後 100 年となる節目であることから、より広く多くの方にお伝えしたいという主旨のもと、東京(首都圏)にて初めて開催します。

また、12 月 20 日(土)、21 日(日)は、泉ガーデンタワー1 階の東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅改札前で、えひめ・東予の人気ご当地キャラ「バリィさん(今治)」、「みきゃん(愛媛県)」、「まちゆり(新居浜)」達も登場して各地の観光情報発信や物産販売も行います。

◆別子銅山とは

＜数々の別子銅山遺跡、労働者・家族ら約 3,800 名が暮らした空中都市＞

愛媛県東予地域に位置する別子銅山は、かつて住友家が約 280 年にわたり経営し、65 万トンもの銅を生み出してきた世界最大級の銅山です。山中には、坑道や鉱石の集積所など数多くの産業遺産が残り、なかでも、採掘の現場本部が置かれた標高 750m の東平(とうなる)には、最盛期に約 3,800 人もの銅山で働く人々が暮らし、住宅から学校・娯楽施設まで造られた町の遺跡が今も残っています。急峻な山中に残る空中都市の姿は、南米アンデスのマチュピチュになぞらえ、“東洋のマチュピチュ”ともいわれ観光名所のひとつとなっています。



＜記念すべき最初の坑道「歓喜坑」＞



＜東平(とうなる)の採掘本部、貯鉱庫の遺跡＞



＜日本工業の近代化に貢献した先進的な銅山事業＞

別子銅山の事業は、新居浜市を四国最大の産業集積地へと発展させたばかりではなく、住友家初代総理事である広瀬幸平により、早期より西洋技術が導入され近代化への取り組みが進められ、19 世紀以降東アジアで最初の近代化を達成した鉱山として日本工業の近代化にも貢献しました。採掘は手掘りから削岩機へ、運搬は牛馬車から鉄道に移り日本初となる山岳鉱山鉄道を敷設、また製錬においても西洋式の製錬所や動力源として水力発電所を設けるなどを実現しました。



＜初代総理事 広瀬幸平＞



＜日本初の山岳鉱山鉄道＞



＜旧端出場水力発電所とシーメンス社製発電機＞



＜急速な近代化に伴い発生した環境問題への取り組み＞

急速な近代化の背景には弊害も発生し、その問題解決にも尽力したことで、日本工業の先進的な事例にもなっています。製錬に使用する燃料とするため樹木を伐採し尽くし、製錬所から出る亜硫酸ガス(煙害)により農作物に被害を及ぼすなどの、環境問題を発生させましたが、住友家二代目総理事である伊庭貞剛をはじめとする歴代の責任者達によって、山々には毎年 100 万本以上の植林を行い緑を取り戻し、煙害も 35 年の歳月を掛けながらも脱硫・中和装置の設置にて解決を果たしました。



＜二代目総理事 伊庭貞剛＞

＜住友グループの事業の原点ともなる別子銅山＞

このような別子銅山事業は、住友家が長きにわたり一貫して単独経営を行ってきた事業であり、現在の住友グループのさまざまな事業へ派生しています。住友金属鉱山をはじめ、住友重機械工業、住友化学、住友林業などの発祥となり、400 年以上の歴史を持つ住友グループの原点を築いた事業です。

《別子銅山展 概要》

開催日時：平成 26 年 12 月 19 日（金）～平成 26 年 12 月 22 日（月）9:00～18:00

※19日は13:30開始、22日は12:00まで

開催会場：「泉ガーデンギャラリー」ほか

主催者：愛媛県、新居浜市

実施内容：①別子銅山に関する資料・写真パネル・ジオラマ等約320点

②基調講演「別子銅山と近代日本～その世界的意義～」

末岡照啓氏(住友史料館副館長 新居浜市広瀬歴史記念館特別顧問)

平成 26 年 12 月 20 日(土)13:00～14:30

③活動報告「未来へつなぐ別子銅山～地域の宝から世界の宝へ～」

パリ・ユネスコ本部で活動報告をした新居浜南高校ユネスコ部生徒

平成 26 年 12 月 20 日(土)14:45～15:30

※遺産の保存・活用に取り組む地元の高校生、市民団体等の活動について

④えひめ・東予の観光情報、物産販売

平成 26 年 12 月 20 日(土)・21 日(日)10:00～17:00

入場料等：入場無料(申し込み不要)

特典 先着 500 名様

・別子銅山の鉄道機関車または端出場水力発電所のペーパークラフトプレゼント

・「広瀬幸平と近代日本」(末岡照啓 著、広瀬歴史記念館 特別企画展 記念講演録)

■会場案内図



<所在地>

・東京都港区六本木 1-6-1
泉ガーデンギャラリー B1 階

<交通アクセス>

・南北線「六本木一丁目」駅 徒歩 5 分
・日比谷線「神谷町」駅 4b 出口徒歩 7 分
・銀座線、南北線「溜池山王」駅 13 番出口徒歩 7 分
・日比谷線、大江戸線「六本木」駅 5 番出口徒歩 9 分

<お客様からの問い合わせ窓口>

新居浜市別子銅山文化遺産課 0897-65-1236

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

住友不動産株式会社 (本展示会協力会社) 広報課

TEL 03-3346-1042 担当：住友